



上半期活動を終えて

第35代会長 L 渡辺 清 昭

2006年7月浦安ライオンズクラブ35代会長としての就任以来早いもので6ヶ月を過ぎようとしております。就任挨拶の中で申し上げましたが伝統のあります浦安ライオンズクラブの先輩の方々が培^{つち}かって来た事業を各委員会及びメンバーの皆様方のご協力を頂きながら一つ一つ進めてまいりました。新三役研修会にはじまり1R新旧役員交代会ガバナー公式訪問、メンバーご家族が一堂に会しての納涼会大いに親睦が深まったものと思われまふ。25回目を迎えたチャリティーゴルフ大会我がクラブに取りましても事業資金獲得の為重要な事業の一つであり全メンバーのご協力により初期の目的以上の成果を上げました事は皆様ご承知の通りであり、クラブとしては継^つけていきたい事業であります。11月東洋東南アジアフォーラムに古河守男L佐久間清L渡辺3名にて参加しました。大会当日はペナン市内の国際競技場において行われ各国より1万人以上のライオンが出席。又地区夕食会に参加大会及び夕食共に盛況の内に終了、自分自身勉強になり有意義な参加でありました。

上半期大事な事業といえば事務所移転問題であります。商工会議所新築に伴^{ともな}い移転問題を理事会を中心に又メンバーのご理解を頂きながら進めた結果移転決定11月11日引越が終わり13日月曜より業務を行っております。新事務所へ現在ある既存の机棚会議用テーブル等使用する為合わない物が出新しく買^うい求めなければなりません。メンバー皆様のご理解をお願い致します。引越の結果を醍醐^{うかが}家に改めて報告とお礼を申し上げたく思っております。以上上半期行って来た事業及び事業報告をレポートに纏^{まと}めました。分りづらい所はご理解の程お願い致しますと共に今期後半事業を残しております。献血・手をつなぐ親の会・薬物乱用防止講座【委員会にて小中学校講座を予定】・会員増強・35周年記念事業等何れも重要です。今迄のお礼と今後進めていく事業に対してお一層のご指導ご協力をお願い申し上げ、活動報告と致します。



期中に思うこと

幹事 L 小川純一郎

一大行事のチャリティーゴルフ大会を皆様のご協力のもと無事終えることが出来、内心ホッとしているところですが、もう一つのビックイベントである35周年記念行事も控えておりますので、まだまだ気を抜くことが出来ない今日この頃です。

さて「感動が心に残る奉仕の和」これは言うまでも無く、今期の会長スローガンであります。私なりにこの言葉を解釈しますと「和」とはすなわち、たし算の答でありますから、奉仕の和とは“奉仕の積み重ね”のことを言っているのだと思います。

どんな奉仕かと言うと「感動が心に残る様な奉仕」で、奉仕する側の真心が受ける側にも伝わり、お互いが感動する様なアクティビティーをしようという事なのだと解釈しております。

今期もまだ5ヵ月目（この原稿を執筆している今現在）になったところですから、たし算の答を出すには早すぎる時期ではありますが、来年の6月末にはメンバーの皆さんの心に残る様な奉仕の和が達成出来るように、今後共会長をサポートし、かつ皆様の活動の潤滑油となって幹事の職責を果すべく頑張りますので、何卒宜しくお願い致します。





上半期を終えて

会計 L 亀井 正 博

今期、会計に仰せつかりましたL亀井です。最初に渡辺会長よりご指名を受けたときには、こんな自分で「出来るのかな」と不安を感じましたが、渡辺会長の「お互い助け合い頑張りましょう」と言うお言葉に励まされお引き受けすることにしました。チャリティゴルフコンペも無事大成功の基に終わり、ほっとしています。上半期を終えて渡辺会長、小川幹事の御尽力に感謝しております。またメンバーの皆様にはご協力心より感謝申し上げます。事務局の石本様には、会計の細かい仕事をご苦労様です。下半期まだまだ行事が残っておりますが、奉仕の心で頑張ります、宜しくご協力お願いします。



上半期委員会活動報告

環境衛生委員会報告

環境衛生委員会

委員長 L 丸 茂 陽 一

過日、10月17日今期第一回日の献血活動が開催され23名のライオンズメンバーの出席をいただきました。お忙しいところ献血活動にご協力いただき有難うございました。

当日は秋晴れの好天に恵まれ最良の日と思いましたが採血の受付人数は73名、血液の比重不足や当日採血条件に合わず採血できなかった人が24名と多く、採血者数が49名という結果で終わりました。

千葉県において血液は一年中不足しております。ライオンズクラブの献血活動は千葉県全体の14%強の採血を示し、千葉県において最も採血量の多い団体です。

次回は一年で最も血液の不足する2月に開催します。ライオンズメンバーのお声掛けが常に良い結果を残します。

特にライオン歴の若いメンバーの皆様の参加協力を期待しております。



上半期委員会活動報告

第45回東洋東南アジア フォーラムに参加して

国際親善姉妹委員会
委員長 L 古河 守 男



SELAMAT PATANG KE MALAYSIA (ようこそマレーシアへ)

成田を出発してシンガポール経由で夜ペナン島に到着しました。約9時間半のフライトでした。翌4日、PISA (ペナン・インドア・スポーツ・アリーナ) で大会登録し、先発の渡辺会長、シーサイドライオンズクラブの皆さん、市川東ライオンズクラブの高木L、と合流して開会式に参加いたしました。開会式にはマレーシア国王、国際会長ジミーロスL、はじめ歴代会長の入場があり、さらに、各国各地のガバナーの紹介が長々とあり我が333-C地区、霜 礼二郎ガバナーの紹介もありました。数多くのライオンズ関係者の紹介後、盛大な民族舞踊がありましたがよくわかりませんでした。

恒例のピンバッジの交換後にフードコートでマレーシア料理を美味しくいただきました。夜は佐久間Lと次回第46回アジアフォーラムの開催地、韓国、大邱(テグ)のレセプションに出席し、ジミーロス国際会長と一緒に写真を取り、日本語の少しわかる大邱大会委員長と楽しくお話が出来、次回必ず参加する約束までしてまいりました。パーティーでは飲物もいろいろ飲め、美味しい韓国料理も沢山いただきました。今回、一番楽しい時間でした。“最高”

翌5日は出発時間までミスタークーさんをチャーターしてペナン島の観光地を案内してもらいました。初めて人力車に乗る経験をしました。

6日午前7時半、無事濃霧の成田に帰国しました。

今回、日本各地から10,000人がアジアフォーラムに参加したようです。

<ペナン島データ>

時差は日本時間のマイナス1時間。面積は淡路島の約3/5。人口は約100万人。ペナン大橋でマレーシアと結ばれている。今の時期(11月上旬)気温は28℃位あり、時々スコールがあり蒸し暑い。物価が安い。食べ物が美味しい。ロングステイを盛んに宣伝している。



上半期委員会活動報告

「クラブのIT化促進」の継続

IT委員会

委員長 L 熊 切 克 巳

前期34期から引き続きIT委員活動を継続しております。34期におきましては、現在活用しております例会出欠及びご案内のメール配信機能を、メール受信者であるメンバーと配信元である事務局にて、簡易な操作と確実に送信できるよう操作性の機能をバージョンアップしました。また今後のホームページの更新を行いやすくするために、更新の仕組みを導入しマイナーチェンジを実施しました。

今期の活動の目標は、前期整備したIT化基盤をベースに、より「IT」化を促進するための“活用”をテーマとし委員会活動を行っております。具体的な活動の内容は

(1)案内メール受信及び出欠登録の全員参加

(2)PR情報委員会との協力による広報としてのホームページ充実化

となります。(1)につきましては、7月第2例会にて「ホームページおよびメール活用のご案内」という内容にて、委員会報告を兼ね簡単な説明を行いました。また8月10日には、事務局にて有志参加者により「デジタル獅子吼講習会」を開催し、携帯電話を利用したメールの受信と、例会出欠のエントリー方法の説明を実践的に行いました。(2)につきましては、IT委員会のホームページにかかわる役割が、構築し公開するまでが、本来のIT活動と位置づけ、今期はPR情報委員会と協力し、ホームページによるクラブの広報を強化推進させることを目的としました。

上半期の成果としましては、連携の機能がまだ十分ではありませんが、PR情報委員会よりいただきました写真や資料を、順次ホームページ上に公開しております。

下半期の目標としましては、さらにホームページの充実を即すために、PR情報委員会を中心とする理事会及び他委員会、事務局からの情報収集機能をより高め、より効率化を、IT化により促進していきたいと考えております。

最後に、今期は333-C地区IRの地区IT委員として、キャビネット役員の活動にも参加させていただいております。この経験を活かし他クラブとの協力、交流を深め、また委員会活動によるクラブへのフィードバックの役割を果たしていきたいと思っております。

これからの下半期IT委員会の活動におきましても、メンバー全員の力が必要不可欠となります。ぜひご協力のほう宜しくお願いいたします。



納涼会を無事？終えて

納涼委員会

委員長 L 高梨芳明

去る8月5日（土）に浦安ライオンズクラブ恒例の納涼会を開催致しました。

思い返せば開催3ヶ月程前に委員長に任命され、大丈夫かな？と心配する間もなく、準備を始めた様に思います。何から手を付けてよいのか迷っている時、会場の手配・アトラクションの選び方・開催までの段取り等、事細かく教えて頂いた諸先輩ライオンの皆様、大変有難うございました。皆様の協力のもと108名という多くの参加を頂き、盛況に開催することが出来ました。基本となる式次第は恒例となっているので助かりましたが、やはりアトラクションを選ぶにあたり、参加者（特に家族の皆様）が喜んで頂けるものは？と気を使いました。石尾Lに協力を願い決定できた時には、ほっといたしました。あっという間の準備期間がすぎ開催当日を迎え、いざ納涼会が始まり、東京ベイホテル東急さんの料理がでた時にやっと一息つけた事を覚えています。アトラクションも限られた予算の中、子供たちにも喜んでもらえた様に思えます。又かわいいバルーンが思った以上に好評で子供たちに大人気でした。ラッキーカードの抽選も皆様に楽しんで頂き、賞品提供に協力して頂いた皆様本当に有難うございました。すべての行事が終わり、「また会う日まで」の輪ができた時ほっとした事を思い出します。恒例となった納涼会が、今後も家族の皆様と楽しい一時を共有できる場として長く続いていくであろうと思います。

最後に、無理やり委員として協力して頂きました、石尾L・大石L・内山L・熊切L・江口L・佐藤伸L・高梨良茂Lの皆様大変お世話になりました。本当に有難うございました。



第25回チャリティーゴルフ大会を終えて

チャリティーゴルフ大会実行委員会
委員長 指田 勝 希

我がライオンズクラブ最大のアクティビティーでありますチャリティーゴルフ大会は、今年で25回四半世紀を迎えます。この節日の大会に実行委員長を任命されましたが、これまでの輝かしい実績・成果を思いますと誠に大役であります。大会に汚点を残さぬよう細心の配慮をもって慎重に取り組みました。

この大会はクラブメンバー全員で行うもので開催には組織、連携、指示が大事であります。そこで組織面で丸茂募集委員長、鈴木（佐）総務委員長、鹿野賞品寄付委員長、岩岡競技委員長の皆さんにそれぞれ委員長をお願いして委員会をまとめていただきました。早速各委員会に於いて綿密な協議が行われ準備がすすめられました。

大会の成功は、何としても大勢の参加者の協力です。昨年並みの人数を是非とも確保したいと（チャリティー資金獲得の為）期待しましたところ、メンバー一同の募集ご努力で338名88組が決定いたしました。一方姉ヶ崎カントリークラブ、ヒルトン東京ベイとの開催交渉もチャリティーと言うことで大変協力して頂き、各委員会による準備等も整い用意万端当日を迎えました。

当日ゴルフ場にはメンバー全員6時に集合いたしましたが、又しても雨となってしまいました。昨日までの晴天が一転し大雨であります。昨年を除いて6年連続の雨の開催となり不運とは言え何故なのかと天を仰ぐばかりでした。参加者には申し訳ないと思いますが、雨の大会にさすがに参加者も諦めたようでありましたので（浦安ライオンズクラブのゴルフはいつも雨であると言ってくれた）気持ちを直しました。

そこで、スタート時間を7時に繰り上げ開始し、全コースがスタートしましたが途中の遅れは免れませんでした。今日の最終は何時になるかと心配し予測が困難でありましたが、午後からは幸いにも雨が止みプレーは速まって円滑に運び最終組の16時15分をもって全員ホールアウトしました。コースコンディションの悪い状況にて怪我や事故もなく無事終わることができて安堵しました。

次は浦安にて式典（目録贈呈・成績発表・抽選会）です。参加者265名の出席のもと松崎秀樹市長様、小泉芳雄市議会議長様にご挨拶をいただき、高梨喜好前消防団長様の乾杯で懇親会に入りました。又、席上にて市内各団体（浦安市社会福祉協議会・浦安市スカウ

— 8 —

ト連絡協議会・浦安手をつなぐ親の会・ジュエリーボックス・盲導犬ユーザー）に助成の目録贈呈を行い当クラブの社会福祉である奉仕活動を披露いたしました。今回は会場をホテル2階クリスタルルームにて行いましたので、広くて豪華な落ち着いた雰囲気の中での懇親会にさぞかし参加者は満足されたことでしょう。そして日中プレーの疲れを癒し、各々スコワの喜びや反省で賑わい会場は大いに盛り上がりました。

いよいよ成績発表です。約1時間を要しましたが、豊富な賞品に喜びの歓声が上がり、最後の抽選会では全員が望みを託して悲喜こもごも笑いをさそい、楽しい雰囲気での経過を忘れました。閉会は岩岡競技委員長の御礼でお開きとなりました。

結びに、クラブメンバーの皆様方には開催に際して理解と協力を頂き厚く御礼申し上げます。クラブとしては奉仕の精神で団結力を発揮し、活発な活動で本大会は成功を収めました。

又、初期の目標を達成できたと信じます。心から感謝申し上げます。長い1日お疲れ様でした。

チャリティゴルフ大会スナップ



「ジュエリーボックス」「盲導犬ユーザー」への助成



受付ご苦労様です



雨が止んで良かったネ



指田委員長の挨拶



世界大会と国際理事

333-C地区元地区ガバナー

内田 千尋

国際理事?! そうなんです。私の場合、ライオンズクラブに入会してから長い間、国際理事については私としてはなじみのない言葉であり、何だかわかりませんでした。国際大会に参加する。○パレードを見る。○参加された世界のライオンズメンバーの方々とチェンジ、チェンジと言って日本から持って行ったピンをお互いに交換する。○姉妹提携をしているアメリカ、ガーディナー市のエルカミノライオンズクラブの方々と1年ぶりに逢い食事を共にして親睦を深める。この3つが楽しみで参加をしていました。開会式の雰囲気をちょっと見てそのままバスに乗り、あとは観光に行っていました。

実は、もうひとつ大事な事があったのです。国際大会の閉会式の式典前の当日の朝、自分達のクラブメンバーの代表と言うことで、このことを代議員といいます。メンバー25人に対して1人、すなわち清き1票を投票する権利があるのです。その清き1票を投票する大事なことがあったのです。このことが国際大会に参加する目的なのです。

私は、このことが最近になってやっとわかって来たのであります。投票することに依って決まることは、国際会長、第1副会長、第2副会長、国際理事、その他議案なのです。